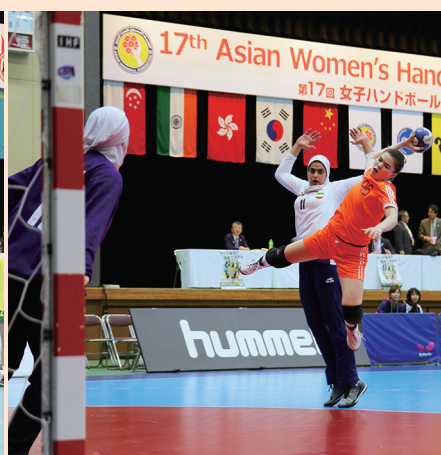


2019 女子ハンドボール世界選手権大会

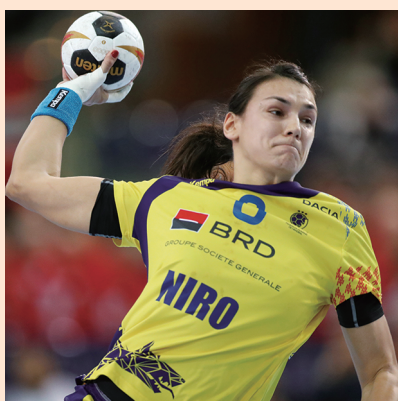
11月30日～12月15日に本市を含む県内3市で2019女子ハンドボール世界選手権大会が開催されます。八代トヨオカ地建アリーナ（総合体育館）では11月30日～12月6日にC組の予選ラウンドが行われ、熱い戦いが繰り広げられます。

今回は八代で試合を行う6カ国の内3カ国を紹介します。



昨年の第17回女子ハンドボールアジア選手権でも八代でプレーしたカザフスタン。他のアジアの国々を撃破し、同大会で見事4位になり、世界大会への切符を手にした。昨年の熊本での試合経験をもとに世界の代表と白熱した試合を展開する。昨年に引き続き、再び八代の観客を楽しませてもらえるだろう。

カザフスタン
(世界ランク36位)



▲ルーマニア屈指のポイントゲッター、ネアグ選手 (Allrights reserved IHF)



▲192cmの身長でエリア際を支配するビンテア選手 (Allrights reserved IHF)

昨年の欧州女子ハンドボール選手権では4位に入ったルーマニア。レベルの高いヨーロッパ大会で結果を残したのは実力の証だ。12月6日のハンガリー（世界ランク3位）との対戦はC組屈指の好カードで熱戦が予想される。まずは予選リーグで波に乗り、メインラウンドにつなげたい。

ルーマニア
(世界ランク5位)



▶スペインのベレンゲル選手 (Allrights reserved IHF)

注目選手はリーガ・ゲラ・ス・イベルドローラの2018/2019シーズンで最優秀選手に選ばれたシルビア・ナバロ選手。リオデジャネイロオリンピックにも出場した彼女は経験豊富なゴールキーパー。前回大会の雪辱を果たすためにも、自分たちのプレーで予選ラウンドを突破し、上位進出を狙う。

前回大会は11位だったスペイン。厳しい欧州女子ハンドボール選手権を戦い抜いた経験が今大会で生きてくるだろう。前回大会同様、同じグループにいるルーマニアなどの強豪国に全力でぶつかっていく。

スペイン
(世界ランク15位)

問合せ

スポーツ振興課 ☎ 43-7012
2019女子ハンドボール世界選手権大会
組織委員会 ☎ 096 (333) 2560



今月の表紙

7月27日、中心市街地一帯で「令和」改元記念第52回八代くま川祭りが開催され、総踊りには54団体約4,300人が参加し、会場はにぎやかな声に包まれました。参加者はそろいの法被や浴衣を着て息を合わせた踊りを披露し、祭りを盛り上げました。